

マンションの建築工事進捗状況

2024年の街のオープンをめざして開発が順調に進行しています。A-1敷地の複合商業施設&住宅棟の工事は今、ビルの3階から4階ができています。道を歩くのも暑い日でも、クレーンがひっきりなしに動いて工事に携わる人達はきびきびと作業しています。



クリエイト2階のクリニックの紹介

駅の隣にある『クリエイトエス・ディー』の建物の2階にメディカルプラザが開業しました。内科、眼科、皮膚科、小児科が入っています。WEB予約できるクリニックもあります。



「常盤台遺跡」について

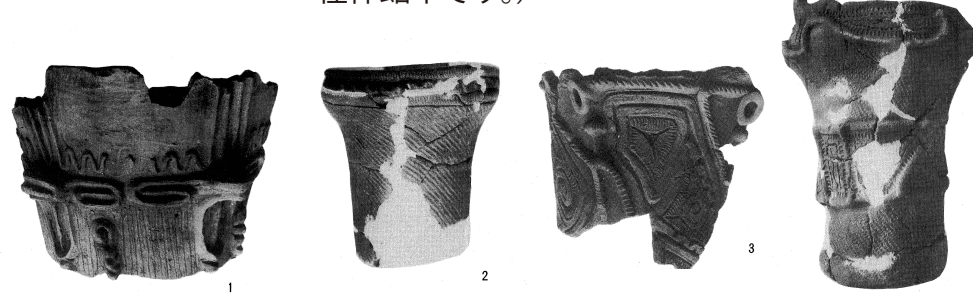
一般に「遺跡」といわれる埋蔵文化財は日本にいくつ位あると思われますか。

2013年に文化庁が発表したデータによると、その数は全国約46万5千件でそのうち神奈川県は約8千件を有しています。遺跡は昔の人の生活や文化水準が分かる貴重なものです。この近辺には存在しないと思われる方が多いと思いますが、実は、明治時代から貝塚があると言われ、1922年(大正11年)の考古学者の調査で「保土ヶ谷貝塚」(帷子貝塚)として発表されました。しかしその後のゴルフ場建設ではその重要性が顧みられることなく残念ながら多くが破壊されてしまいました。

この地に移転してきた横浜国立大学の工学部研究棟建設工事中の1976年、たまたま切り崩された崖面に縄文土器が発見されたのをキッカに本格調査を行ったところ、1980年の3次調査までに多数の土器片や石器(多くは打製石斧)と円形の竪穴住居址が計7戸発見されました。こうした調査の結果、この遺跡は「常盤台遺跡」と名付けられました。多くは縄文中期から後期の遺跡で貝塚群も形成されており、この周辺に古代の集落があったことが分かります。今、私達が暮らしているこの地に古代人が狩猟をしたり魚をとったりして生活していたことを思い浮かべるとロマンを感じますね。(横浜国大ミュージアムで発掘された遺跡の出土品や住居址の写真が展示されていますが、現在休館中です。)



図版15 第2地区発掘された住居址群



編集後記

新型コロナウイルスの第7波が高止まりの状態ですが、収束に向かい以前の生活に早く戻れることを願うばかりです。活動の進展により、この会も名称を変更し、まちづくり協議会のロゴマークも皆さんの投票によって決定いたしました。このニュースへのご意見、ご要望などございましたら常盤台地域ケアプラザ内の事務局までお寄せください。(常盤台地域ケアプラザ 045-339-5701)

横浜国大ワークショップ報告

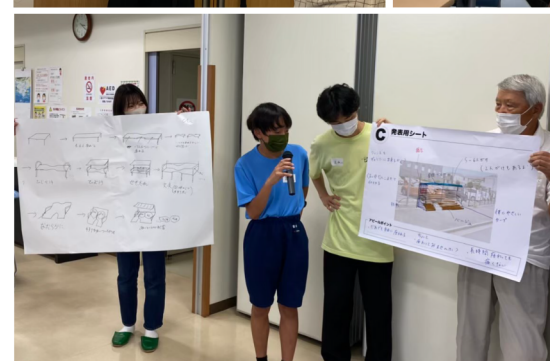
2022/7/16横浜市常盤台地域ケアプラザにて

第50回

『移動する空間』から『とどまる場所』へ
まちなかでとどまれる場所を考えよう!

今回のWSは、保土ヶ谷中学校の生徒さんにも参加していただき、前回決めた設置場所にどんなイスを作るかについて考えました。グループワークでは、場所の特性を整理し、だれが、いつ、どのようにイスを使うかを考えました。そして、

イスの形に対して1人ずつ順番にアイデアを付け加えて具体的な形にしていきました。さまざまな年代の方の意見が活発に交わされ、個性あふれる5つのイスの原案が完成しました。



令和4年度 羽沢横国まちづくり協議会総会報告

令和4年度羽沢横国まちづくり協議会 総会が開催されました。

開催日：令和4年7月1日(金)
時 間：9：30～10：30
会 場：常盤台コミュニティハウス
集会室①②

内 容：

- 1.開会挨拶
- 2.総会成立確認と議長指名
- 3.議案審議
 - (1)令和3年度事業報告(承認)
 - (2)令和3年度収支決算報告・会計監査報告(承認)
 - (3)令和4年度事業計画案(承認)
 - (4)令和4年度収支予算案(承認)
 - (5)羽沢横国まちづくり協議会会則案(承認)
- 4.閉会挨拶
- 5.横浜市地域まちづくり課担当係長挨拶

今回の総会は、本会の名称が変更されて新たにスタートした最初の総会でした。令和4年度の重点活動は①地域まちづくりプラン原案作成②サイン製作設置予算案作成になります。



サイン製作・設置グループ活動報告

●現在までの活動

- ①設置場所の確定
- ②デザインの決定
- ③製作・設置費用の確定

以上3項目がサイン製作上重要なポイントになります。②についてはグループで協議決定が可能、③については施工業者の見積もり等を検討することで確定できます。

最大の難関は、①設置場所の確定です。サインの機能上、通行者の見える位置に設置するのが望ましく公道上や公園内設置が最適な場所になります。

しかし、所轄の行政(土木事務所)と設置許可について、数度の交渉を重ねていますが、現時点では承諾を得られていません。

●今後の活動について

- ①当該の自治会・町内会でサインの具体的設置場所を明確にし、ワーキンググループにて早期に整理することになりました。
- ②横浜市・区役所の協力を得ながら、ともに調整していくことを、グループとして確認しました。

まちづくり協議会ロゴマーク

『羽沢横国まちづくり協議会』のロゴマークが決定しました。
697票のうち296票を獲得し以下のロゴマークになりました。



まちづくり協議会

まちづくりプラン作成のために ご意見をください！

～まちづくりアンケート調査のお願い～



こちらからもアンケートにご回答いただけます！

数年前からバリアフリー構想や、町の愛着を育てるサインづくりなどに取り組んでおります。

こうした活動は今後も継続しますが、同時に地区の将来像やまちづくりの目標・方針を定め、実現のための方策や必要な事業の内

容を記載した「地域まちづくりプラン」が必要になります。これは、サインづくりの際などに整備助成金を受けるための条件でもあります。

地域まちづくりプラン作成を目指して、まちの魅力を伸ばすとともに、地域の課題を解決するために地域の皆様から広く意見を求めたいと思いますのでアンケートを実施します。

■実施方法

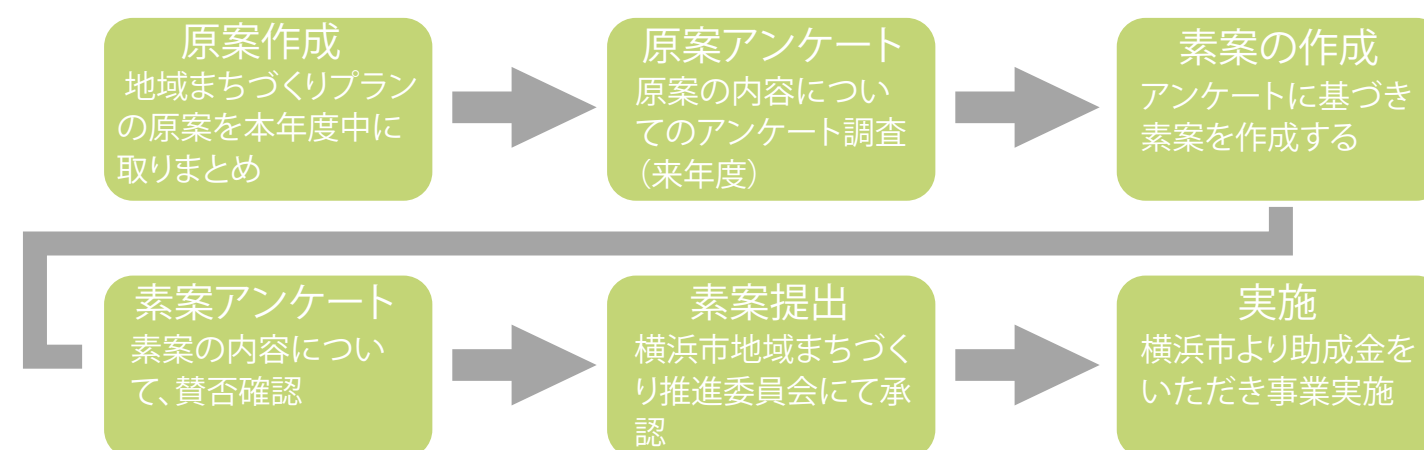
- ・配布 2022年9月上旬
- ・最終回収日 2022年10月中旬
- ・回収方法
 - ①自治会の班長さんに提出
 - ②町内自治会館に設置のポストに投函
 - ③常盤台地域ケアプラザに設置のポスト
 - ④携帯端末(スマホ)で二次元コードから
- ・集計 11月末頃までに取りまとめ、その後報告

■主なアンケート内容

- ・地域を「今より住み易いまちにする」ため、重要だと思う課題について
- ・「羽沢国大駅周辺地域」の道、坂、緑について、思っている事、魅力に思う事、課題と思うことについて
- ・このまちの防災・防犯に関して
- ・まちへの愛着・地域らしさに関して
- ・歩行空間・道路に関して
- ・暮らしやすさに関して
- ・多世代共生・異文化理解に関して
- ・「まちづくり」についてのご意見

横浜市都市計画整備局をはじめ各局・区にて周知を図るとともに建設計画の際は告知や協力要請をいたします。地区では、実現のための「町のルール」も作ります。

■今後の予定



ご協力お願いいたします。

